

# リニューアル前後の全成分

販売名	ナチュラルアクアクリーム 水の彩
-----	------------------

リニューアル前の全成分
水
BG
グリセリン
マルチトール
リゾレシチン
オウゴン根エキス
水溶性コラーゲン
ヒバマタエキス
カワラヨモギ花エキス
アロエベラ葉エキス
黒砂糖エキス
カンゾウ根エキス
グリチルリチン酸2K
アラントイン
ビフィズス菌培養溶解質
海塩
水酸化K
カルボマー
トコフェロール
メチルパラベンNa

リニューアル後の全成分	変更点
水	
BG	
グリセリン	
ペンチレングリコール	新規成分
マルチトール	
リゾレシチン	
水溶性コラーゲン	
ヒアルロン酸Na	新規成分
水溶性プロテオグリカン	新規成分
加水分解シルク	新規成分
オウゴン根エキス	
ローズマリー葉エキス	新規成分
ヒバマタエキス	
カワラヨモギ花エキス	
アロエベラ葉エキス	
黒砂糖エキス	
カンゾウ根エキス	
グリチルリチン酸2K	
アラントイン	
ビフィズス菌培養溶解質	
海塩	
水酸化K	
カルボマー	
トコフェロール	

※グレー成分は、リニューアル後配合いたしません。

# 全成分表

販売名	ナチュラルアクアクリーム 水の彩			
-----	------------------	--	--	--

	成分表示名称	配合目的	原料由来	成分特徴
1	水	基剤	精製水	肌なじみの良い水です。
2	BG	保湿剤	サトウキビ	低刺激で安全性の高い多価アルコールです。また、製品の安定した品質を保持します。
3	グリセリン	保湿剤	パーム、ヤシ、菜種、ヒマワリ	もっとも多用されている保湿成分で、天然油脂に含まれています。天然油脂は、脂肪酸とグリセリンから出来ています。また、製品の安定した品質を保持します。
4	ペンチレングリコール	保湿剤	サトウキビ、トウモロコシ	抗菌効果の高い保湿剤です。多価アルコールの「1,2-ペンタンジオール」のことです。
5	マルチトール	保湿剤	タピオカ澱粉、コーンスターチ、麦芽糖水飴	デンプンより得られる糖エキスです。皮膚刺激のない保湿剤として働きます。また、製品の安定した品質を保持します。
6	リゾレシチン	湿潤調整剤	大豆	しっとりとしたなめらかな肌ざわりをつくります。また、水と油分をつなぐ役割をし、製品の安定した品質を保持します。
7	水溶性コラーゲン	保湿剤	真鯛の鱗	真鯛の鱗から抽出して得られます。皮膚の起伏を滑らかにし、強い保湿力と弾力性、皮膚修復効果が期待できます。
8	ヒアルロン酸Na	保湿剤	乳酸菌の一種	多糖類の一種です。生体内に広く分布している成分で、高い保湿力は注目されており、肌の乾燥を防ぎ、ハリとツヤを与えます。角質層の水分量を維持することが期待できます。
9	水溶性プロテオグリカン	保湿剤	鮭の軟骨	ヒアルロン酸産生促進、EGF様作用があります。ヒアルロン酸Naと併用すると保湿力がアップします。
10	加水分解シルク	保湿剤	蚕	ヒアルロン酸とセラミドを合成する働きがあります。肌に潤いをあたえ、バリア機能を向上させます。
11	オウゴン根エキス	保湿剤	コガネバナ	シソ科オウゴンの根から抽出したエキスで、保湿成分として働く他、豊富にフラボノイドを含み、抗炎症、抗アレルギー、収斂性が期待できます。
12	ローズマリー葉エキス	保湿剤	ローズマリーの葉	シソ科植物マンネンロウ(ローズマリー)の葉から抽出した芳香性のあるエキスです。抗菌性、抗酸化性効果、消炎、引き締めなどの効果が期待できると言われています。
13	ヒバマタエキス	保湿剤	褐藻類	褐藻の全藻から抽出したエキスで、多糖類の一つです。水分や他の成分を包み込む働きをもち、アミノ酸、ミネラルを含み、すぐれた保湿と皮膚再生作用が期待できます。
14	カワラヨモギ花エキス	保湿剤	カワラヨモギの頭花	キク科の植物カワラヨモギの頭花から抽出したエキスで、抗炎症作用、静菌作用が期待できます。
15	アロエベラ葉エキス	保湿剤	アロエベラの葉	ユリ科の植物アロエベラの葉より抽出したエキスで、多糖類の一つです。水分や他の成分を包み込み、さらに皮膚の損傷治療効果や紫外線防御効果、またメラニン生成抑制効果が期待できます。
16	黒砂糖エキス	保湿剤	サトウキビ	サトウキビから得られるエキスで、多糖類の一つです。水分や他の成分を包み込む働きをもち、さらに、抗炎症、抗アレルギー作用が期待できます。
17	カンゾウ根エキス	保湿剤	カンゾウ	カンゾウの根のエキスで、多糖類の一つです。水分や他の成分を包み込む働きをもち、さらに含有のグリチルリチン成分に優れた抗アレルギー、抗炎症作用が期待できます。
18	グリチルリチン酸2K	抗炎症剤	カンゾウ	カンゾウから抽出して得られ、抗アレルギー性、抗炎症作用に優れています。急性や慢性の皮膚炎に対して作用は緩和で副作用がなく、優れた効果をもっています。
19	アラントイン	抗炎症剤	合成	細胞増殖、表皮組織形成、創傷治療作用が期待でき、荒れたお肌の改善ばかりでなく、お肌を保護します。
20	ビフィズス菌培養溶解質	保湿剤	ビフィズス菌培養生成物	ビフィズス菌培養生成物のエキスで、免疫賦活作用をはじめ、紫外線による細胞の老化・萎縮・色素異常を防ぎ、細胞の自然修復機能を高める働きが期待できます。
21	海塩	粘調整剤	海水	豊富に含まれるミネラル成分の補給と、製品粘性の調整剤として働きます。
22	水酸化K	中和剤	合成	カルボマーのpH調整剤(中和)として用います。
23	カルボマー	基材(流動化剤)	合成	安定した合成ポリマーです。天然の多糖類(エキス類)と共にゲル粘質の均一性、温度変化に対する安定性を保ちます。
24	トコフェロール	酸化防止剤	大豆、菜種、トウモロコシ、綿実、ヒマワリ、パーム	ビタミンEのことです。大豆・菜種などの油より抽出され、高精製して得られるエキスです。酸化防止剤として働き、製品安定性を高めます。

※ 成分の表示は配合量の多い順を原則に表記しています。(但し、1%以下の成分については順不同)